



透析だより 9月号



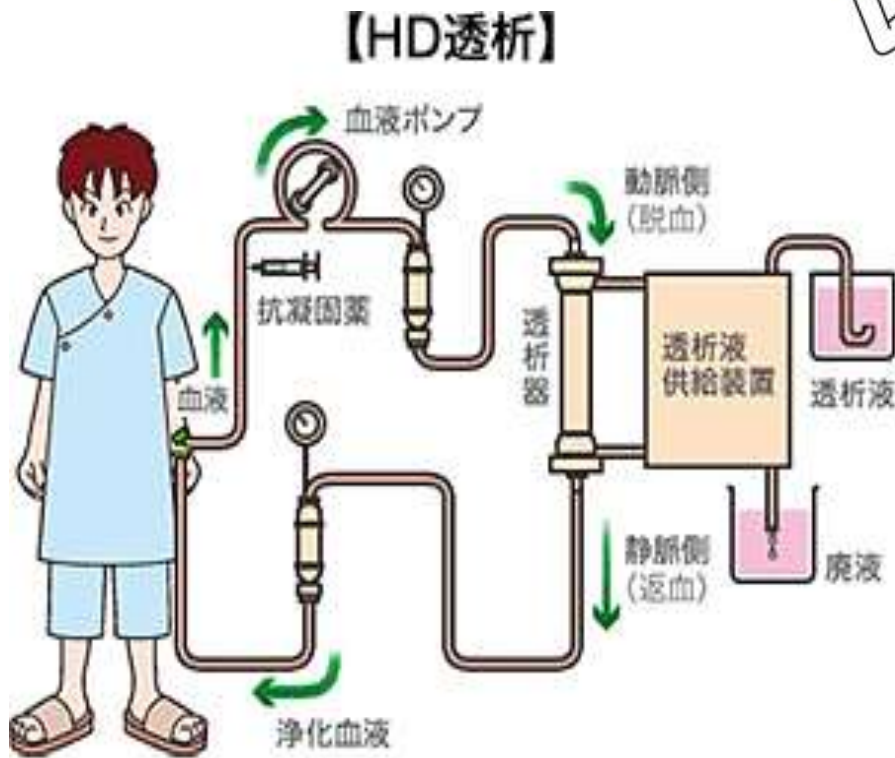
～I-HDF（間けつ補液型血液透析濾過）について～

ME科 西尾 光司

I-HDF と言われてもよくわからないと思いますので、順を追って説明していきます。

まず、透析室にいるほとんどの方が受けている治療が

★血液透析（HD：Hemo Dialysis）というものです。

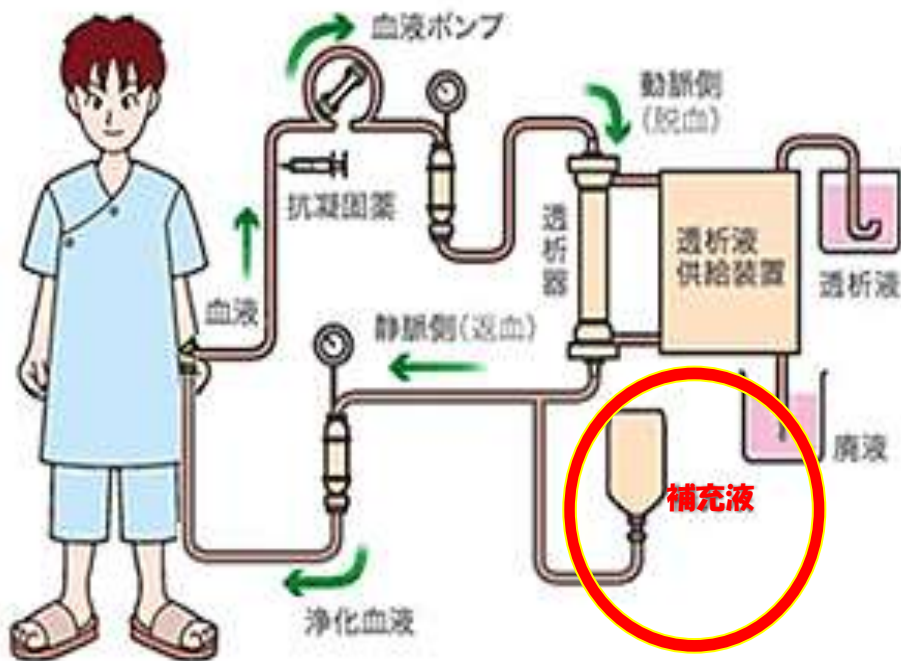


図のように血液を体内から取り出し、透析器と言われる人工腎臓を通して体内に
 たまった尿毒症の原因物質や老廃物の排泄、血液中のナトリウム・カリウム・カル
 シウムといった電解質と酸性・アルカリ性のバランスの維持を『拡散』、体内の水分
 調節を『ろ過』によりおこなっています。



★血液透析ろ過 (HDF : Hemo Diafiltration) 治療について。

【HDF透析】



血液透析の原理である『ろ過』を多く行う治療法です。

方法として、濾過する量を増やすために補液を行い、その量だけ設定された除水量に加え余分にろ過します。血液透析と比べてろ過する量が多くなるため、大きいサイズの物質の除去に優れており、以下の様々な症状を抑えることが可能です。

- ・足のムズムズ感
- ・末梢神経障害
- ・貧血
- ・皮膚の掻痒感
- ・皮膚の乾燥
- ・イライラ感
- ・不眠
- ・食欲不振
- ・透析中の血圧低下
- ・透析アミロイドーシスによる骨や関節の症状など



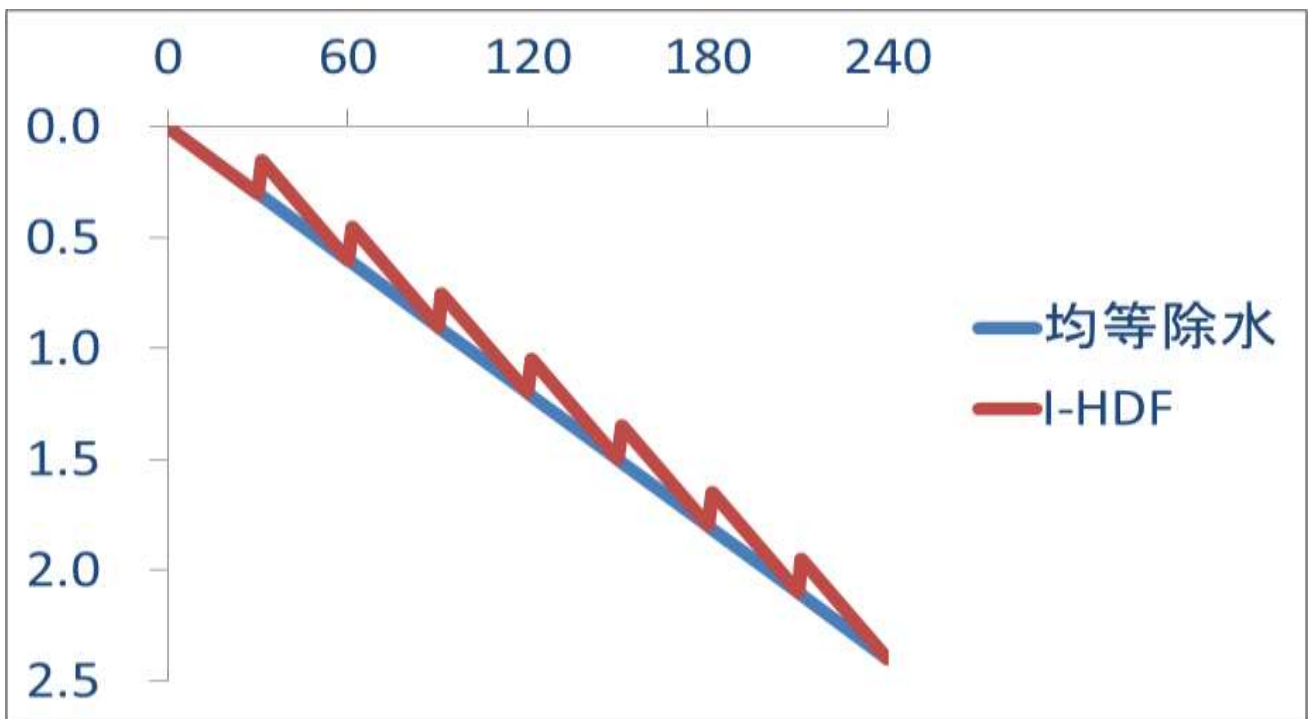
★オンライン HDF (On-line HDF) について

血液透析ろ過 (HDF) を効率よくさせた治療です。これは、血液透析ろ過の補液に 透析液を補充液として用いる ことによって、大量の補液を行うことが可能になり、大量のろ過をかけて多くの物質を取り除くことが可能です。

そういった治療の中に今回のメインとなる

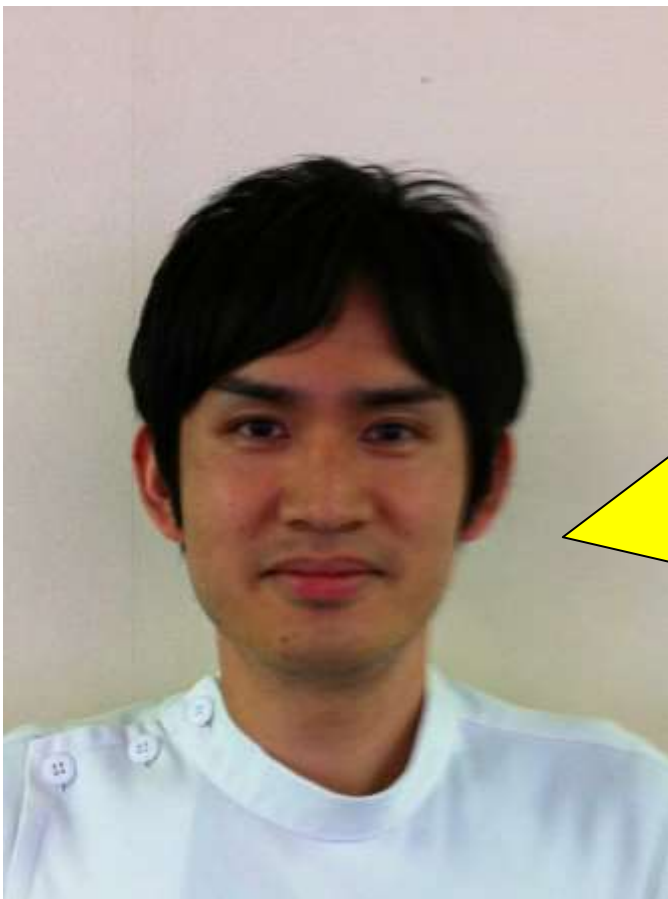
間けつ補液型血液透析ろ過 (I-HDF : Intermittent infusion HDF) というものがあります。

血液透析と平行して、一定の間隔ごとに補液を行う治療法です。透析器を通して透析開始から決められた時間ごとに一定量の補液を行います。補液された水分は身体に残ってしまうのではないかとと思われる方もいらっしゃると思いますが、補液された水分は透析装置に設定された除水量に加算されて除水されるようになっており、体内に水分が残らないように調節されています。



この治療法は血液透析（HD）と比較すると、一定の間隔ごとに入る補液によって身体の血液の流れが改善され、身体をつりを防止し、血圧低下の予防し、老廃物の除去をよくすることが期待されています。

このような治療を行なうために、とてもきれいな透析液を作り、適切な透析器や装置を用意し、安全に治療ができるようにしっかりと管理していかなければなりません。



まだまだ新しい治療法なので、スタッフ一同よりよい医療・サービスを提供できるよう、しっかりと勉強してがんばっていきます。

